

単独計器チェッカー

(N C - V)

取扱説明書

高千穂産業株式会社

1. 用途

- 1) 単相単独計器取付け後、計器回転の良否をチェックします。
- 2) 三相単独計器取付け後、電圧コイル断線の有無をチェックします。

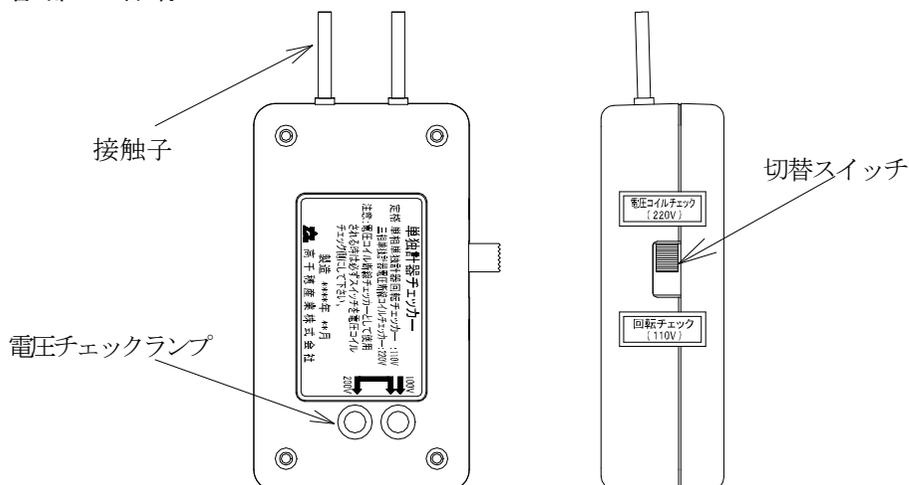
2. 特長

- 1) 接触子を計器の端子に当てるだけで簡単にチェックできます。
- 2) 電圧線輪が断線している時、誘導電圧で電圧チェックランプが点灯することはありません。
- 3) 軽量で携帯に便利です。
- 4) プラスチック製のケースで、感電の危険がありません。

3. 仕様

項目	仕様
定格電圧	110V (単相単独計器回転チェッカー) 220V (三相単独計器電圧コイル断線チェッカー)
スイッチ容量	1A 250V
耐圧	AC2000V、1分間
負荷	110V 60W (単相単独計器回転チェッカー用)
寸法	28.5×50×90 mm
質量	約100g

4. 各部の名称



5. 使用方法

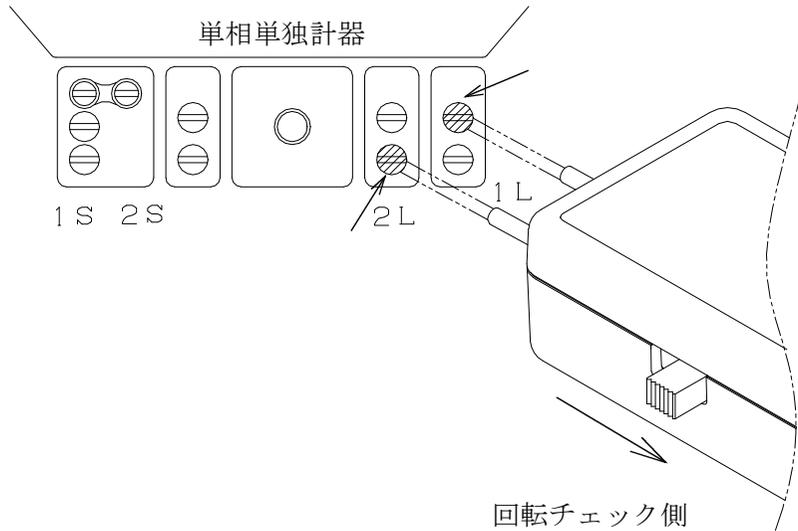
5-1 単相単独計器の回転チェッカーとして

- ・ 切替スイッチを回転チェック側にします。
- ・ 計器の端子に接触子をあてます。

単相二線式（100V）の場合：1L — 2L 端子間

単相三線式（100V）の場合：1L — 2L 端子間

または 2L — 3L 端子間



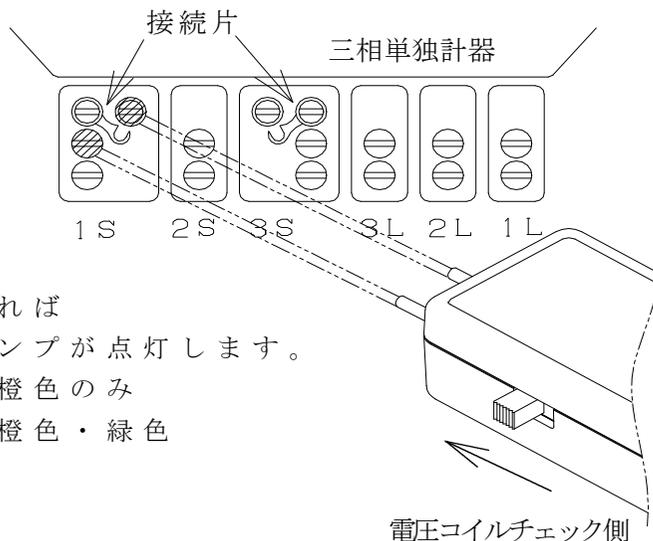
危険

- 回転チェックは1分以内に終了して下さい。
- 連続使用の場合は30分以上間隔をおいてください。

発熱によるやけどのおそれがあります。

5-2 三相単独計器の電圧コイル断線チェッカーとして

- ・切替スイッチを電圧コイルチェック側にします。
- ・計器端子の1S及び3Sの接続片を外します。
- ・1S-1S'（電圧コイル端子）間に接触子をあてます。
- ・3S-3S'間に接触子をあてます。



断線していなければ
電圧チェックランプが点灯します。

100Vの場合：橙色のみ

200Vの場合：橙色・緑色

6. 取扱い上の注意

- 1) 三相単独計器の電圧コイル断線チェッカーとして使用する
ときは切替スイッチを電圧コイルチェック側にして下さい。
回転チェック側で220Vに触りますと内部の抵抗が焼損する恐
れがあります。
- 2) 封印を外さないでください。
内部を開いた場合の故障の責任は負いかねます。

 **高千穂産業株式会社**

お問合せは：

岩倉工場 〒482-0041 岩倉市東町江東10-1

TEL (0587) 37-7771 FAX (0587) 37-7766

本社	〒462-0041	名古屋市北区浪打町1-44	TEL (052) 915-1111
東京支店	〒108-0014	東京都港区芝5丁目19-6	TEL (03) 3453-4778
名古屋支店	〒462-0041	名古屋市北区浪打町1-44	TEL (052) 915-1111
大阪支店	〒550-0012	大阪市西区立売堀2-1-116	TEL (06) 6536-1730